

我孫子市

放射性物質除染計画

(第1次計画 平成23年10月～平成24年3月)

平成23年10月14日

目 次

1. 計画の目的	1
2. 計画の実施期間	1
3. 各施設における放射線量と除染の取組み	1
◇小・中学校	1
◇保育園・幼稚園	2
◇公園	3
4. 除染の実施について	3
(1) 放射線量低減策の実施を判断する基準	3
(2) 判断基準を超える施設数の現状	4
◇小・中学校	4
◇保育園・幼稚園	4
◇公園	4
(3) 第1次計画の対象施設	5
(4) 除染計画表	6
(5) 工程表	9
5. 計画の推進	10
(1) 推進体制	10
(2) 実施状況の公表	10
(3) 除染マニュアルの遵守	10
6. 計画の見直し及び第2次除染計画の策定	10

1. 計画の目的

福島第一原子力発電所の事故に伴い放出された放射性物質によって、約200キロメートル離れた我孫子市でも一部地域で相対的に高い放射線量が測定されており、市民に不安が生じています。

市は、市民の不安を解消し、原子力発電所の事故前の状態に近づけることを目的に、我孫子市放射性物質除染計画を策定し、対策を推進します。

2. 計画の実施期間

小・中学校、保育園、幼稚園、公園等子ども達の利用する施設を対象に、相対的に放射線量の高い施設を優先的に実施することを基本に、当面の除染計画を策定したものです。第1次計画の期間は、平成23年10月～平成24年3月までとします。

平成24年4月以降は、第一次計画の進行状況を見ながら、平成24年3月に第2次計画を策定し、引き続き除染を行います。

3. 各施設における放射線量と除染の取組み

◇小・中学校

(当初の放射線量)

6月14日から測定を開始し、校庭の50cmの高さでは、並木小学校で最大0.63マイクロシーベルト/時(以下 $\mu\text{Sv/h}$)を記録し、最小は湖北台中学校の0.19 $\mu\text{Sv/h}$ でした。

(放射線量低減の取組み)

各小中学校では、教職員が保護者や地域の方々の協力を得て、各校の実情に応じて校庭表土の一部除去、側溝清掃、除草作業を実施してきました。また、砂場の砂の入れ替えは耐震工事を実施している1校を除き、完了しました。9月9日からは業者委託による側溝清掃(高圧洗浄及び汚泥除去)を側溝の放射線量や学校行事等を考慮しながら実施し、10月中に全小・中学校で完了する予定です。

(放射線量の現状と課題)

直近の測定結果は、並木小学校で $0.36 \mu\text{Sv/h}$ 、湖北台中学校で $0.13 \mu\text{Sv/h}$ であり、これまでの取組みから放射線量の低減に一定の効果が見られています。

しかしながら、校庭全面が市の当面の除染基準を上回る学校や局所的に高い放射線量が計測される学校があります。

◇保育園・幼稚園

(当初の放射線量)

6月14日から測定を開始し、保育園では、園庭中央50cmの高さで、並木保育園で最大 $0.43 \mu\text{Sv/h}$ 、布佐宝保育園、双葉保育園で最小 $0.17 \mu\text{Sv/h}$ でした。

(放射線量低減の取組み)

各園の実情に応じて、園庭の砂の除去、一部表土の削り取り、芝生の芝刈りや人工芝の高圧洗浄及びチップの除去等の低減策を実施しました。また、犬猫の糞尿対策と併せて砂場の砂の入替えを実施し、公立保育園は全園で、私立保育園では5園で、幼稚園は9園で完了しています。

(放射線量の現状と課題)

直近の測定結果は、保育園では、並木保育園で $0.16 \mu\text{Sv/h}$ 、布佐宝保育園で $0.13 \mu\text{Sv/h}$ 、双葉保育園で $0.17 \mu\text{Sv/h}$ となっています。当初放射線量の高かった施設において除染が進み、全体的に放射線量は低くなっています。

ただし、きめ細かな測定を行っている保育園・幼稚園では、局所的に放射線量の高い場所があります。

◇公園

(当初の放射線量)

6月14・15日に主要な公園13施設について測定を実施し、公園中央50cmの高さで、天王台西公園で最大0.61 μ Sv/h、南新木沖田公園で最小0.16 μ Sv/hでした。

(放射線量低減の取組み)

これまで草・芝の刈取り、集草、落ち葉の収集等を中心に実施し、天王台西公園と柴崎台中央公園では高圧洗浄、芝・草の削り取り、覆土、表土のすき取りを実施しています。また、砂場の砂は10の施設で入れ替えを完了しています。

(放射線量の現状と課題)

10月4日現在、203の公園で測定を終了しました。公園中央50cmの高さの最大値は久寺家あすなろ公園の0.55 μ Sv/h、最小値は布佐高架下子どもの遊び場の0.11 μ Sv/hとなっており、市の西部の公園の放射線量が高い傾向にあります。

4. 除染の実施について

(1) 放射線量低減策の実施を判断する基準

放射線量の低減策を実施していく上で、相対的に線量の高い施設の目安は、当面、小学校、中学校、保育園、幼稚園、公園では地表から50cmの高さで、次のとおりとします。

(当面の放射線量低減策の実施する目安)

8月31日現在の各施設の測定地点における放射線量の平均

◇小・中学校・保育園・幼稚園：0.26 μ Sv/h

◇公園：0.34 μ Sv/h

(2) 判断基準を超える施設数の現状

◇小・中学校

10月5日現在、校庭5地点、地上高50cmの空間放射線量測定平均値が、判断基準である $0.26 \mu\text{Sv/h}$ を上回る施設数は、小学校3校、中学校2校です。放射線量の平均値は判断基準を下回りますが、校庭5地点の中で1地点でも判断基準を超えている施設は、小学校8校、中学校2校です。

◇保育園・幼稚園

9月26・27日現在、園庭5地点、地上高50cmの空間放射線量測定平均値が、判断基準である $0.26 \mu\text{Sv/h}$ を上回る施設はありませんが、園庭5地点の中で1地点でも判断基準を超えている施設は、公立保育園1園、私立保育園3園、幼稚園2園です。

◇公園

10月12日現在、施設中央1地点、地上高50cmの空間放射線量測定値が、判断基準である $0.34 \mu\text{Sv/h}$ を上回る施設数は78公園です。砂場は地上高5cmの空間放射線量を測定し、 $0.34 \mu\text{Sv/h}$ を上回る施設数は34公園です。

このうち利用者の多い大規模公園2公園、放射線量が高く、子どもたちの利用が多い街区公園9公園で除染を実施します。また、砂場については34公園全てで砂の入れ替えを実施します。

(3) 第1次計画の対象施設

施設における、児童・園児等の生活実態を考慮して優先度を定め、重点的に除染を行います。第1次計画として、次のところを重点的な除染対象とします。

施設 () は施設総数	重点的な除染対象	対象施設数 () は内訳
小学校 (13)	○校庭・園庭 ・校庭・園庭の全面除染 測定個所5カ所全てが基準値を超過している施設	2 (小学校2)
中学校 (6)	・校庭・園庭の一部除染 平均で基準値を超過しているが、超過している場所がその一部である施設	3 (小学校1、中学校2)
公立保育園 (7) 私立保育園 (11) 幼稚園 (10)	・校庭、園庭の一部除染 部分的に基準値を超過している場所があるが、平均では超過していない施設	16 (小学校8、中学校2、公立保育園1、私立保育園3、幼稚園2)
	○校舎・園舎周り等 各施設で、放射線量の高い場所(ミニホットスポット)から除染	全小・中学校、全保育園・幼稚園
公園 (203)	○園地の除染 ・利用者の多い大規模公園	2
	・放射線量が高く、子ども達の利用の多い 街区公園(市民手づくり公園を含む)	9
	○砂場の入替え 子ども達の利用の多い砂場を優先的に 行う	34
	○草刈り、集草、落葉清掃	全公園

(4) 除染計画表

	施設名	実施場所	方法	完了予定
小 学 校	並木小学校 高野山小学校	校庭の全面	業者委託により表土の削り取り、覆土等を実施	平成24年3月
	第二小学校 新木小学校 布佐南小学校	校庭の一部	業者委託により表土の削り取り、覆土等を実施	平成24年3月
	第一小学校 第三小学校 湖北小学校 湖北台西小学校 根戸小学校 湖北台東小学校	校庭の一部	保護者の協力を図り、表土掃き取りを実施 ※実施後、放射線量測定結果の推移により、業者委託による校庭の一部あるいは全面の表土の削り取りを検討。	平成23年12月 ※業者委託の場合は平成24年3月
	全小学校	ミニホットスポット等	保護者の協力を図り、表土除去・高圧洗浄・覆土・除草・剪定・落ち葉清掃等、場所に応じた作業を実施 ※実施後、放射線量測定結果の推移により、業者委託による除染作業を検討	継続
中 学 校	久寺家中学校 白山中学校	校庭の一部	業者委託による表土の削り取り、覆土を実施	平成24年3月
	湖北中学校 布佐中学校	校庭の一部	保護者の協力を図り、表土掃き取り ※実施後、放射線量測定結果の推移により、業者委託による校庭の一部あるいは全面の表土の削り取りを検討	平成23年12月 ※業者委託の場合は平成24年3月
	全中学校	ミニホットスポット等	保護者の協力を図り、表土除去・高圧洗浄・覆土・除草・剪定・落ち葉清掃等、場所に応じた作業を実施 ※実施後、放射線量測定結果の推移により、業者委託による除染作業を検討	継続

施設名	実施場所	方法	完了予定
つくし野保育園	園庭の一部	業者委託により表土の削り取りを実施	平成23年11月
	側溝	業者委託により側溝清掃を実施	
寿保育園	園庭の一部	保護者の協力を図り、表土の削り取りを実施	平成23年10月
並木保育園	雨水ます	業者委託により雨水ますの撤去を実施	平成23年10月
公立保育園	緑保育園	職員により表土の削り取りを実施	平成23年11月
	東あびこ保育園	職員により表土の削り取りを実施	平成23年12月
	湖北台保育園	職員により表土の削り取りを実施	平成23年10月
	全公立保育園	ミニホットスポット等 保護者の協力を図り、表土除去・高圧洗浄・覆土・除草・剪定・落ち葉清掃等、場所に応じた作業を実施 ※実施後、放射線量測定結果の推移により、業者委託による除染作業を検討	継続
	私立保育園・幼稚園	公立保育園に準じ除染を実施	
公園	天王台西公園 (大規模公園)	園路、芝部、遊具周り、ベンチ周り、東屋周り、集水橋、排水路 業者委託により芝の削り取り、高圧洗浄、表土のすき取り、落葉等清掃を実施	平成23年10月
	柴崎台中央公園 (大規模公園)	園路、草部、遊具周り、ベンチ周り、集水橋、排水路 業者委託により草部の天地返し、高圧洗浄、覆土を実施 福祉団体により落葉等清掃を実施	平成23年10月
	我孫子駅南口東公園他6公園 (街区公園)	全体 自治会の協力及び業者委託により除染 具体的手法については自治会と協議により決める	平成24年3月

施設名	実施場所	方法	完了予定
公園	①つくし野2号公園 ②並木1号公園 (市民手づくり公園)	全体 手づくり団体、自治会の協力及び業者委託による除染。 具体的手法については手作り団体、自治会と協議により決める	平成24年3月
	久寺家あけぼの公園 他33公園 (公園放射線量測定結果表参照)	砂場 砂の入替えを実施	平成24年3月
	他の公園	低減策の業者委託、現場職員による草刈・雑草や落葉等清掃を実施する	

(5) 工程表

施設名		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
小学校	並木小学校 高野山小学校		→					
	第二小学校 新木小学校 布佐南小学校		→					
	第一小学校 第三小学校 湖北小学校 湖北台西小学校 根戸小学校 湖北台東小学校	→						
	全小学校	→						
	中学校	久寺家中学校 白山中学校	→					
		湖北中学校 布佐中学校	→					
		全中学校	→					
		公立保育園	つくし野保育園	→				
			寿保育園	→				
	並木保育園		→					
	緑保育園		→					
東あびこ保育園	→							
湖北台保育園	→							
全公立保育園	→							
私立保育園・幼稚園	→							
公園	天王台西公園 (大規模公園)	→						
	紫陽台中央公園 (大規模公園)	→						
	我孫子駅南口東公園 他6公園 (街区公園)		→					
	①つくし野2号公園 ②並木1号公園 (市民手づくり公園)		→					
	久寺家あけぼの公園 他33公園 (公園放射線量測定 結果表参照)	→						
	その他の公園	→						

5. 計画の推進

(1) 推進体制

本計画の推進体制は、市長を委員長とする「我孫子市放射線対策会議」を計画の推進、進行管理の中心とします。

(2) 実施状況の公表

本計画に基づく、放射線量の測定結果、除染作業の実施状況については、広報、我孫子市ホームページ等により随時公表します。

(3) 除染マニュアルの遵守

本計画の推進にあたっては、我孫子市放射性物質除染マニュアルを遵守します。

6. 計画の見直し及び第2次除染計画の策定

除染計画の実施にあたっては、国・県や東京電力の対応を見ながら、必要に応じて随時見直しをするものとします。

第2次除染計画については、今後も継続的にきめ細かい放射線量の測定を行い、第一次計画の進行状況を見ながら、平成24年3月に策定します。